学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間

【　9／1～11／30　】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

札幌市立中島中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

文化委員が選ぶ「今月のおすすめ本」

本校図書館に入るとすぐ目に飛び込んでくるのはおすすめ本の展示です。思わず手にとってページをめくる生徒がいると、つられて何名かが集まり、時には先生も交えて、本の話題で盛り上がる様子がよく見られます。文化委員が７月のホラー系、８月のスポーツ系、１０月の文学系など季節を感じるテーマを決めて本を選び読書の推進に努めています。



校内の読書環境を整える

図書館が閉館のときや、朝読書のときなどに、学級内で本が読めるよう学級にそれぞれ箱にまとめた図書セットを貸し出しています。文化委員が年４回セットの入れ替えを行い、学級に設置します。読書の幅を広げるような選書を心がけています。

学習センターとしての機能

NIE 新聞読み比べ

公民的分野の単元「メディアリテラシーを身につけよう」において、新聞６紙の読み比べを行いました。日本新聞協会の NIE（Newspaper in Education）の新聞を教材にする活動の一環として、提供された複数の新聞を閲覧し、スクラップの作成をしました。新聞に触れる機会が増え、社会の出来事が自分に関わることなのだと、捉えることができました。



11 月 13 日 NIE の講演会が視聴覚室で行われました。事前の生徒アンケートや新聞スクラップから生徒の疑問にひとつひとつ丁寧に応えていただき、遠くの事件を身近なものとして考えることの大切さを学べました。北海道新聞で 40 年の記者経験がある講師の講演は臨場感にあふれており、身を乗り出すように聞き入る生徒の姿がありました。生徒たちが主権者として求められる力を育成する機会となりました。

情報センターとしての機能

まな bell を朝読書に活用

朝読書の時間に Chromebook を用いて新聞を読むことができます。当日の朝刊 1 面に目を通すことで、社会情勢を知ったり、読解力を高めたりします。また、「道新受験情報」を活用して、進学・進路選択の参考にしています。

「毒書生活」による本の紹介

本校の教諭が読書活動を推進するために発行する「毒書生活」が生徒に大好評です。本のジャンルを問わず、広い視野で本を紹介する紙面からは、本好きの尽きない好奇心と熱意があふれています。これを読んで、図書館に本を探しにくる生徒がたくさんいます。

